

豊庄だより



第 745 号 2023 年 2 月 20 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

新型コロナウイルスの感染者数が減少してきてほっとしていましたら、今度は A 型インフルエンザ感染と咳・鼻水・熱・のどの痛み・吐き気の症状で



宮若市乙野

体調を壊している子どもたちが増えてきました。保育士も数名、同様の症状が出て、休みをとりました。おそらく何らかのウイルスだとは思いますが…。近隣の保育園ではノロウイルスが発生したという情報も入り、これまでの感染対策は当分続けないと、子どもたちそして保育園は守れないと思っています。

さて、今号は 2 月の誕生会のことを書きます。前述の状況のため、保護者の参加は一人までとし、前半を、ばら・ゆり・ひまわり組、後半を、もも・さくら・すみれ組の 2 部制で行いました。全クラスがステージに上がり、歌を披露しました。早く全員集まるとの行事を開催したいと思うのですが、今できるのはここまででした。

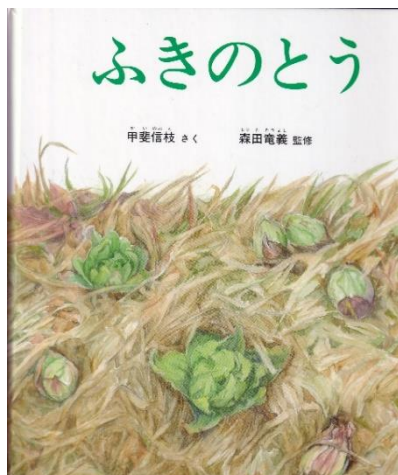
私も、「園長先生の話」をしました。今回は、フキノトウです。例年より少し早いのかなと思いました。子どもたちには季節の旬の話題を提供しなければと、実家に生えていた「実物」



テントウムシがいました

を見せました。フキノトウの特徴はやはり香りです。花の部分をつまんでほぐし、先生と参加されたお父さんに嗅いでいただきました。(2 枚の写真はため池のほとりで芽を出したフキノトウです。味噌汁にかけるとおいしいですよ)

終了後、恒例の懇談会をしました。次のような困ったことや悩んでいることを話し合いました。○夜通し寝ることがほとんどありません。○家では好物以外なかなか食べません。○スマホに触りたがります(動画)。○家でも外でも抱っこすることが増えました。今だけなので可愛さもありませんが…。○繊細な性格だからか、吃音になってしまうことがあります。本人の環境の変化や、兄たちのことで私が忙しくなったりする時かなと思います。○“その子、この子に合わせた子育てを”と頭にはありますが、実際にはできてなかったり…。3 人目にして、その子この子の接し方を真剣に考えさせてもらっています。先生方にもいつも大きな心で見守っていただき、いつも感謝しております。ありがとうございます。○長女の保育園の行き渋りに困っています。私が育休中で家にいることが分かっているので甘えたいのか、毎朝、泣きながら「きついから行きたくない…」と言います。本当に体調が悪いのかも?という時もあるので、無理矢理連れていくべきか迷います。



保育園は、こうした保護者の悩みを共有すべきだと思っています。誕生会の懇談会にぜひ参加してください。語り合いましょ。

※左の絵本『ふきのとう』は甲斐信枝さんの傑作です。図書室に置いてありますので、ぜひ手に取ってみてください。フキノトウの素敵な絵と出会えます。

※今号は私(園長)が書き、舜先生が添削をしました。